

区分・種別	県指定天然記念物		
名 称	あかいしやま 赤石山の高山植物		
所 在 地	新居浜市・四国中央市土居町にまたがる赤石山付近一帯		
所 有 者	住友林業ほか	管 理 団 体	新居浜市ほか
指定年月日	昭和32年12月14日		
解 説	石鎚山脈の東部に宇摩地方の海岸部を走る法皇山脈があり、この法皇山脈のうち、ハネズル山（標高1282.1m）からニツ岳（1647.3m）、エビラ山（1635.9m）、権現越を経て東赤石山（1706.6m）、西赤石山（1626.1m）、銅山越にいたる山系を赤石山系という。 赤石山系の植物はきわめて多く、1,000種以上に及ぶとされ、中でも権現越から銅山越にいたる地域には特に高山植物がたくさん自生し、学術上貴重な地帯を形成している。 タカネバラ、クロベ、ゴヨウマツ、コメツガ、ウバタケニンジン、ツガザクラ、ゴゼンタチバナ、コケモモ、アカモノ等数10種に及ぶ。標高1,700m以下の所での高山植物の分布は特殊な地理的要因によるものである。		

